

(新)学校等エコ改修・環境教育モデル事業(一般会計・石油特会)

1,030百万円( 0百万円)

総合環境政策局環境経済課環境教育推進室

## 1. 事業の概要

地域社会の基礎単位である学校及びその校区において、環境への負荷の少なく快適な学校環境づくり、学校と地域が協力した環境教育をモデル的に推進する。

### (1) 地球温暖化を防ぐ学校エコ改修事業(石油特会:1,000百万円)

学校の特徴に応じた二酸化炭素排出削減効果を有する省エネ改修、新エネ導入の最も効果的な組み合わせ(遮光、屋上緑化による断熱など)による施設整備に要する費用の一部を補助する。

### (2) 学校等エコ改修と環境教育事業(一般会計:30百万円)

「地球温暖化を防ぐ学校エコ改修事業」において適切な技術の組み合わせが行われるよう助言を行い、最大限の効果を得られるようにする。また、学校等エコ改修におけるモデル的な技術の組合せを検討し、これを各自治体技術者、業者に広く普及する。

さらに、各事業対象校で行われるエコ改修を素材として、地域も参加した建築・住まいに関する環境教育に技術支援を行い、それぞれの成果をとりまとめ全国に普及する。

## 2. 事業計画

施設整備の実施、エコ改修を素材とした環境教育の検討、事業効果の把握と評価、事業成果の普及を3カ年計画で進める。

10カ所の校区で事業を実施。

平成17年度予算(石油特会)

補助先 地方公共団体

補助率 1/2

交付額 100百万円×10ヶ所

### 3 . 施策の効果

本モデル事業は、学校や校区内の施設のエコ化による二酸化炭素排出量削減と、これを題材として地域での環境教育の普及、環境建築技術者の育成等を図り、環境負荷の少ない地域づくり、地域における環境保全意識の醸成を促進する。また、建築、造園分野における環境技術を広く普及し、地域での取組の基盤とする。

# 学校等エコ改修・環境教育モデル事業

地球温暖化を防ぐ学校エコ改修事業  
(特別会計) 1,000百万円

3年間総額3,000百万円  
(1カ所あたり100百万円×10カ所×3カ年)

## 学校の施設のエコ化

・改修・改築期を迎えた校舎の環境改修、整備

断熱・遮熱、窓のペアガラス化等躯体の省エネ技術

植樹、壁面・屋上緑化などによる環境改善

太陽光発電等の自然エネルギーの導入

学校等エコ改修と環境教育事業  
(一般会計) 30百万円

エコ改修における技術的調査  
・施設のエコ化において適切な技術の組合せが行われるよう指導  
・実際の改修によって得られた成果を全国的視点から評価し、モデル的な技術の組合せを検討、全国に普及

## 一体的取組

施設のエコ化を素材とした環境教育事業  
・学校等での施設のエコ化を素材とした環境教育  
・地域住民と連携した学校を中心とした環境教育の実施  
・公共施設から民間建物への取組の拡大を促進する環境教育プログラム  
・地域の民生部門関係建築技術者への研修

得られる効果

- 学校での環境教育の進展
- 地域が参加した環境教育の展開
- 学校施設からの環境負荷低減
- 建築物での環境負荷に関わる技術者の拡大
- 自然エネルギー等の利用による学校の災害対応機能の強化